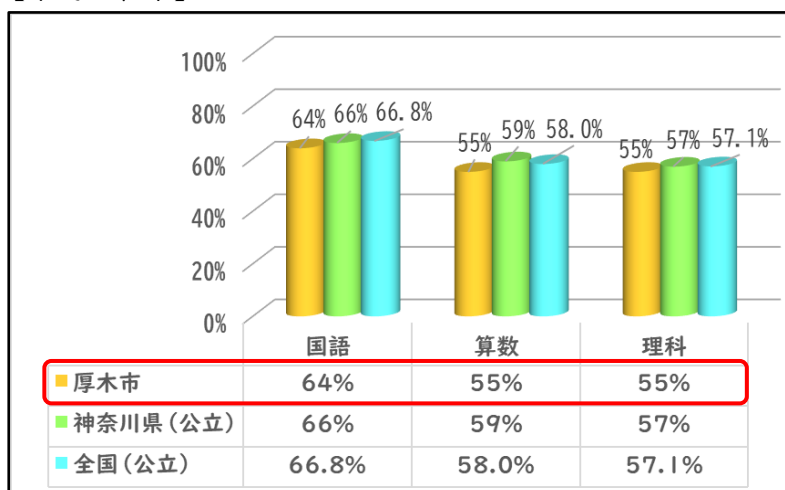


3 教科（国語、算数・数学、理科）に関する調査結果

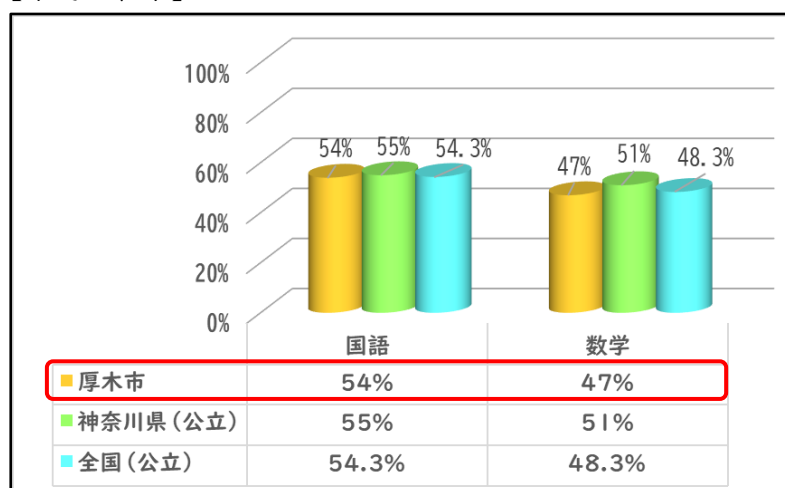
小学校

【平均正答率】

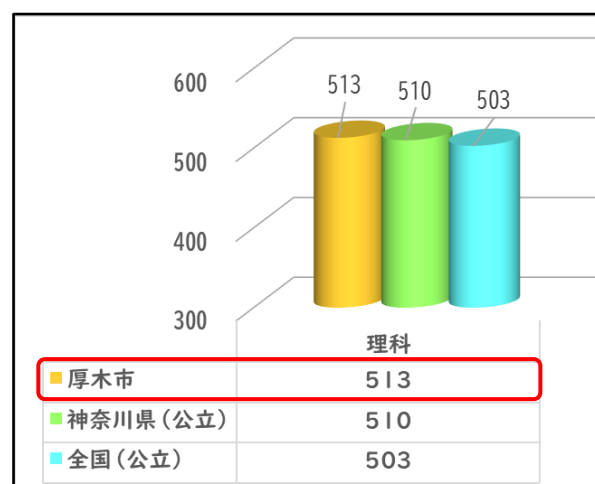


中学校

【平均正答率】



【平均 IRT スコア (※ 3)】



※ 3 IRT（反応項目理論）は、一人一人の問題の正誤状況を活用し、調査に取り組んだ人の学力を測定する方法です。

IRT スコアは、IRT（反応項目理論）に基づいて各設問の正誤パターンから学力を推定し、500 を基準にした得点を表すものです。

平均 IRT スコアは、算出された各生徒のスコアを足し合わせて平均をとったものです。

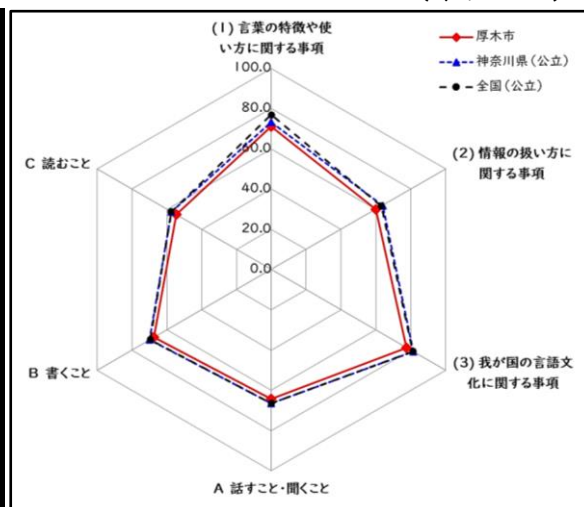
(1) 小学校 国語の主な結果（平均正答率）について

【学習指導要領の内容】

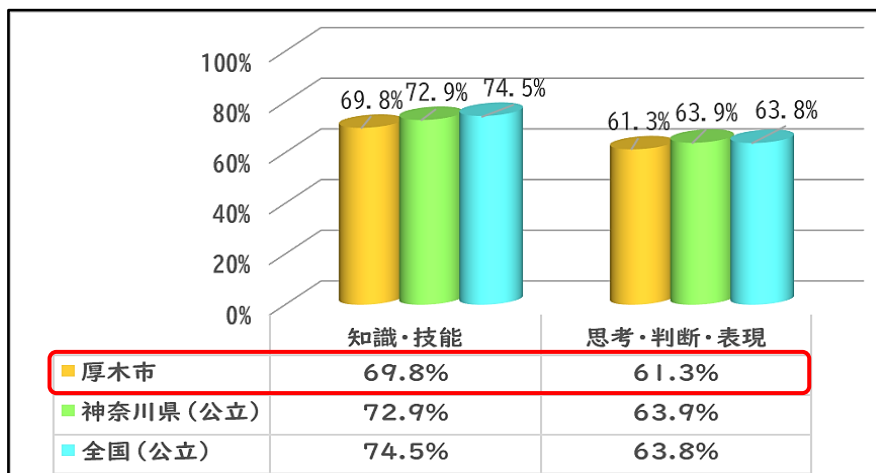
(単位：%)

分類	学習指導要領の内容					
	知識及び技能			思考力, 判断力, 表現力等		
区分	(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2)情報の扱い方に 関する事項	(3)我が国の言語文化に 関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと
厚木市	71.0	59.9	77.5	64.2	67.4	54.6
神奈川県 (公立)	73.3	63.7	81.3	66.5	69.9	57.5
全国(公立)	76.9	63.1	81.2	66.3	69.5	57.5

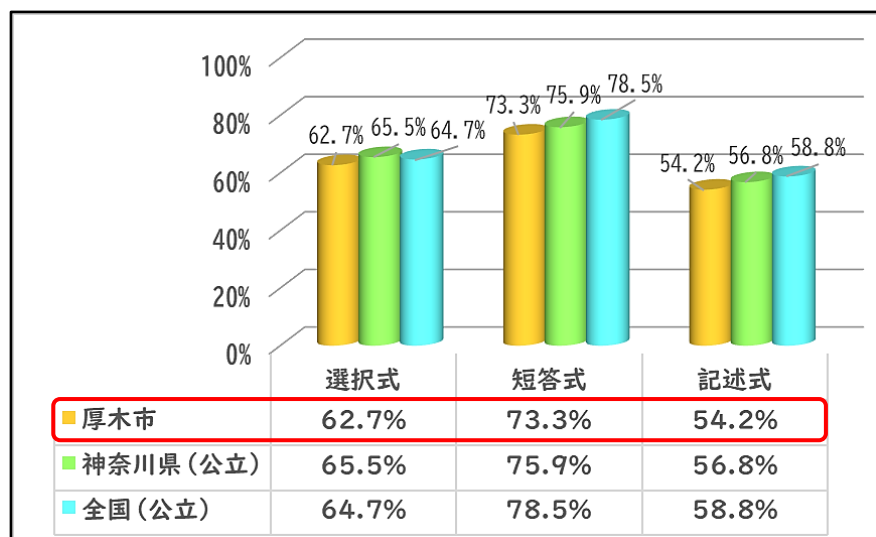
(単位：%)



【評価の観点】



【問題形式】



【問題例】

※ 調査問題、正答例等につきましては、次のホームページをご覧ください。

国立教育政策研究所 令和7年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について

【ホームページアドレス】 <https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>

【小学校 国語】 本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も高い問題

② 伝統工芸品について推薦するちらしを書く 設問二

〔出題の趣旨〕

図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる

〔学習指導要領の内容〕

思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	83.0%	83.2%	81.8%	+1.2

図と言葉を合わせて示すことで、自分の考えが伝わりやすくなることを捉えることはできていると考えられます。

【小学校 国語】 本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も低い問題

③ 複数の資料を読み、分かったことや考えたことをまとめる(言葉の変化) 設問三(1)

〔出題の趣旨〕

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる

〔学習指導要領の内容〕

思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	39.8%	42.7%	40.8%	-1.0

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに令和5年度調査から引き続き課題があると考えられます。

【小学校 国語】 全国（公立）の平均正答率との差が最も大きい問題

2 伝統工芸品について推薦するちらしを書く 設問四イ

〔出題の趣旨〕

学年別漢字配当表※に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる

※ 学年別漢字配当表は、小学校で学習する漢字を各学年に割り当てた表であり、各学年では、前の学年に配当された漢字を書くことを身に付けるよう指導することとされています。

〔学習指導要領の内容〕

知識及び技能 (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

〔評価の観点〕

知識・技能

	厚木市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との差
平均正答率	65.8%	66.7%	72.1%	-6.3

学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに引き続き課題があると考えられます。

【小学校 国語】 本市、全国及び神奈川県において最も無解答率が高い問題

3 複数の資料を読み、分かったことや考えたことをまとめる（言葉の変化） 設問三（2）

〔出題の趣旨〕

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる

〔学習指導要領の内容〕

思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との差
平均正答率	52.1%	53.5%	56.3%	-4.2
無解答率	18.7%	20.2%	16.2%	+2.5

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに、令和5年度調査から引き続き課題があると考えられます。

（令和5年度【小学校】国語2 平均正答率 67.6%）

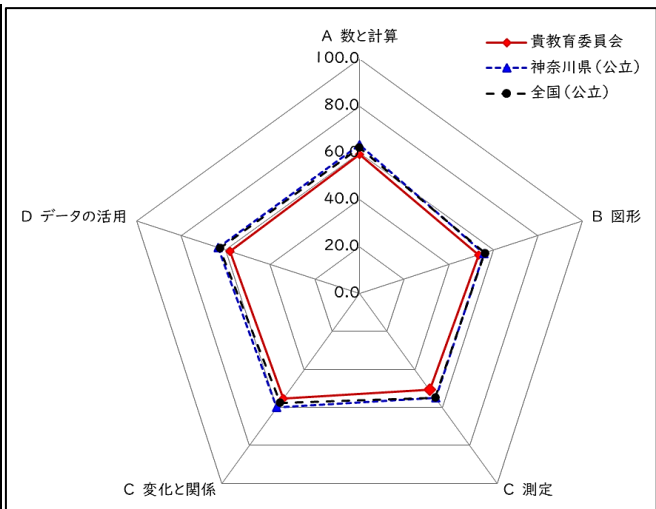
(2) 小学校 算数の主な結果（平均正答率）について

【学習指導要領の領域】

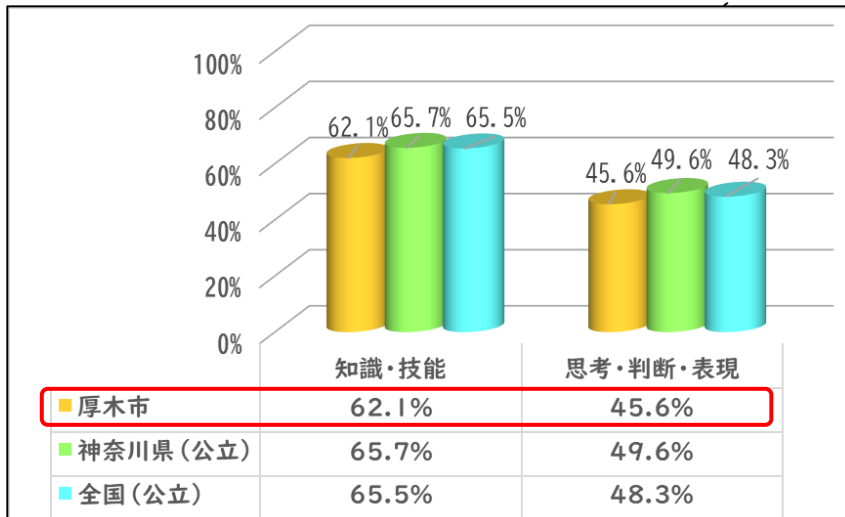
(単位：%)

分類	学習指導要領の領域				
区分	A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用
厚木市	59.3	53.3	50.8	55.3	57.9
神奈川県 (公立)	63.5	55.8	55.1	59.9	63.2
全国 (公立)	62.3	56.2	54.8	57.5	62.6

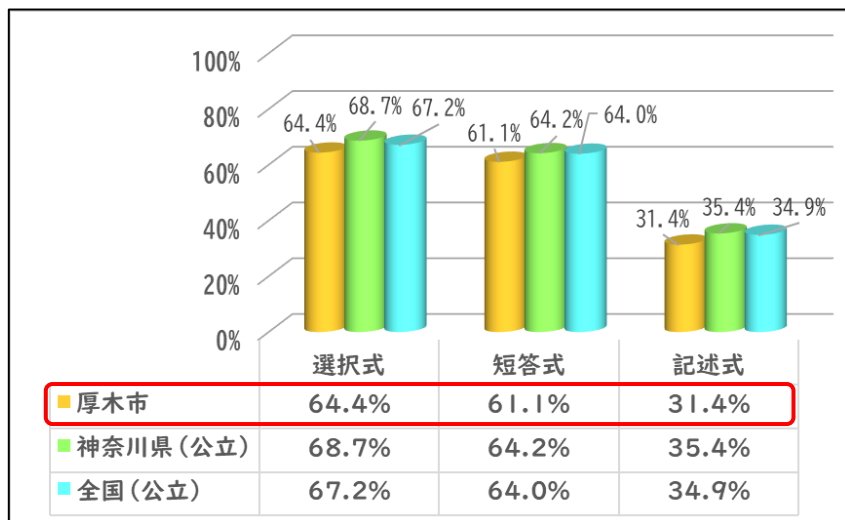
(単位：%)



【評価の観点】



【問題形式】



【問題例】

※ 調査問題、正答例等につきましては、次のホームページをご覧ください。

国立教育政策研究所 令和7年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について

【ホームページアドレス】 <https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>

【小学校 算数】 本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も高い問題

- 4 日常の事象について伴って変わる二つの数量の関係に着目して考察すること 設問(1)
 [出題の趣旨]
 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができるかどうかをみる
 [学習指導要領の領域]
 A 数と計算 C 変化と関係 D データの活用
 [評価の観点]
 思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	81.2%	84.5%	82.8%	-1.6

伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことはできていると考えられます。

【小学校 算数】 本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も低い問題 本市、全国及び神奈川県において最も無解答率が高い問題

- 3 計算の仕方について統合的・発展的に考察すること(小数と分数) 設問(2)
 [出題の趣旨]
 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる
 [学習指導要領の領域]
 A 数と計算
 [評価の観点]
 思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	20.5%	24.7%	23.0%	-2.5
無解答率	16.1%	16.9%	15.7%	+0.4

分数の加法について、共通する単位分数※を見だし、加数※と被加数※が、共通する単位分数の幾つ分かを記述することに課題があると考えられます。

※単位分数：もとにする大きさの分数 ※加数：加える数 ※被加数：加えられる数

【小学校 算数】 全国（公立）の平均正答率との差が最も大きい問題

2 図形を構成する要素に着目し図形を考察すること（多角形） 設問（1）

〔出題の趣旨〕

平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうかをみる。

〔学習指導要領の領域〕

B 図形

〔評価の観点〕

知識・技能

	厚木市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との差
平均正答率	52.4%	55.5%	58.3%	-5.9

平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することに課題があると考えられます。

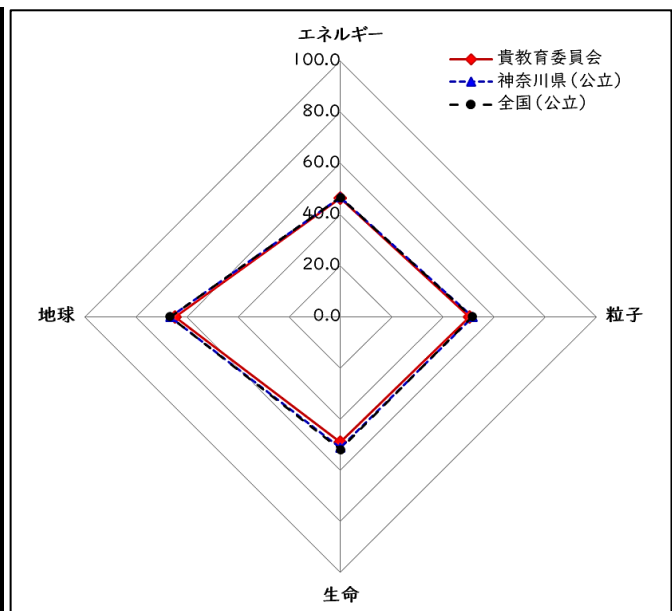
(3) 小学校 理科の主な結果（平均正答率）について

【学習指導要領の領域】

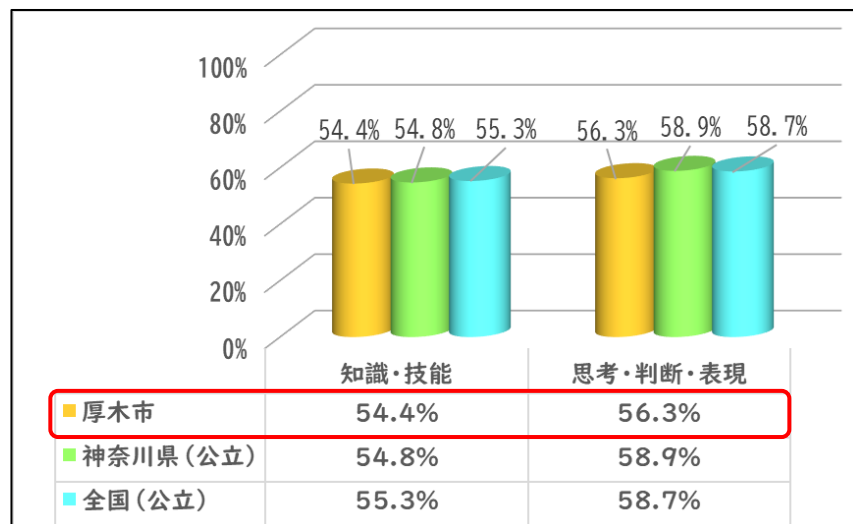
(単位：％)

(単位：％)

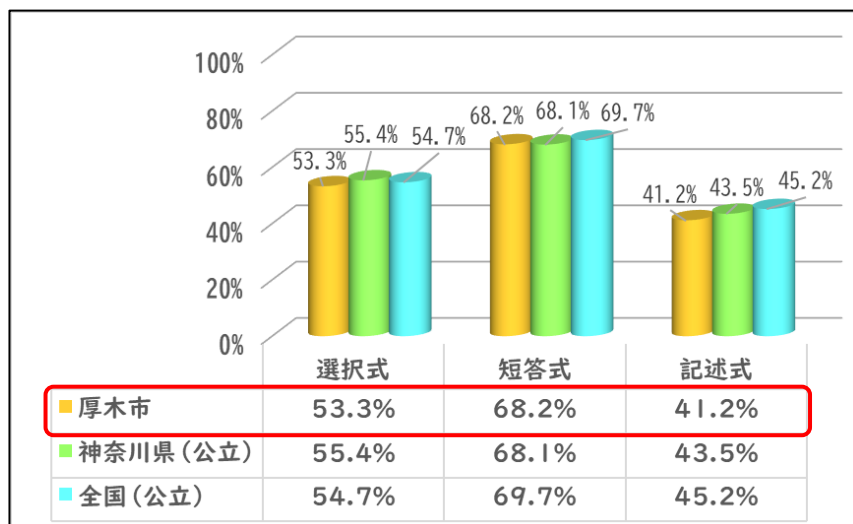
分類	学習指導要領の区分・領域			
	A 区分		B 区分	
区分	「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域
厚木市	46.3	50.4	49.1	64.9
神奈川県(公立)	46.6	51.7	51.2	66.6
全国(公立)	46.7	51.4	52.0	66.7



【評価の観点】



【問題形式】



【問題例】

※ 調査問題、正答例等につきましては、次のホームページをご覧ください。

国立教育政策研究所 令和7年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について

【ホームページアドレス】 <https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>

【小学校 理科】本市において平均正答率が最も高い問題

2 電気の性質を活用したものづくり(エネルギーに関する問題) 設問(3)

〔出題の趣旨〕

電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることを知識が身に付いているかどうかをみる。

〔学習指導要領の領域〕

A区分「エネルギー」を柱とする領域

〔評価の観点〕

知識・技能

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	79.5%	76.7%	78.0%	+1.5

電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることが知識として身に付いています。

【小学校 理科】本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も低い問題

2 電気の性質を活用したものづくり(エネルギーに関する問題) 設問(1)

〔出題の趣旨〕

身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる。

〔学習指導要領の領域〕

A区分「エネルギー」を柱とする領域 「粒子」を柱とする領域

〔評価の観点〕

知識・技能

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	9.6%	10.5%	10.6%	-1.0

電気を通す物と磁石に引き付けられる物に関する知識を身に付けることに課題があると考えられます。

【小学校 理科】 全国（公立）の平均正答率との差が最も大きい問題
本市、全国及び神奈川県において最も無解答率が高い問題

Ⅰ 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違い（地球に関する問題） 設問（２）
〔出題の趣旨〕
赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができるかどうかをみる。
〔学習指導要領の領域〕
Ｂ区分「地球」を柱とする領域
〔評価の観点〕
思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との差
平均正答率	55.8%	56.2%	60.5%	-4.7
無解答率	9.8%	9.6%	8.5%	+1.3

水のしみ込み方の違いについて【結果】を基に考察し、【問題に対するまとめ】の理由を適切に表現することに課題があると考えられます。

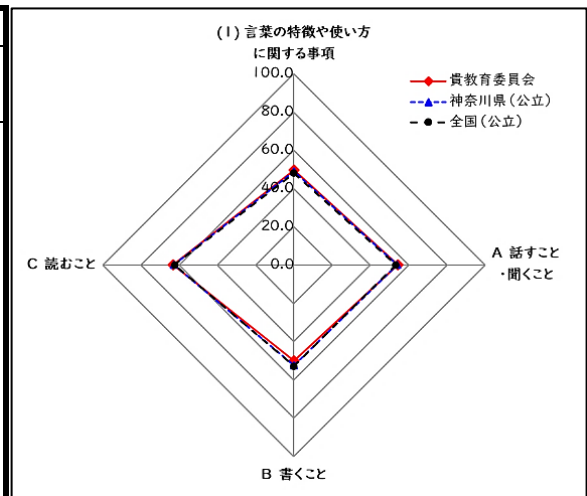
(4) 中学校 国語の主な結果（平均正答率）について

【学習指導要領の内容】

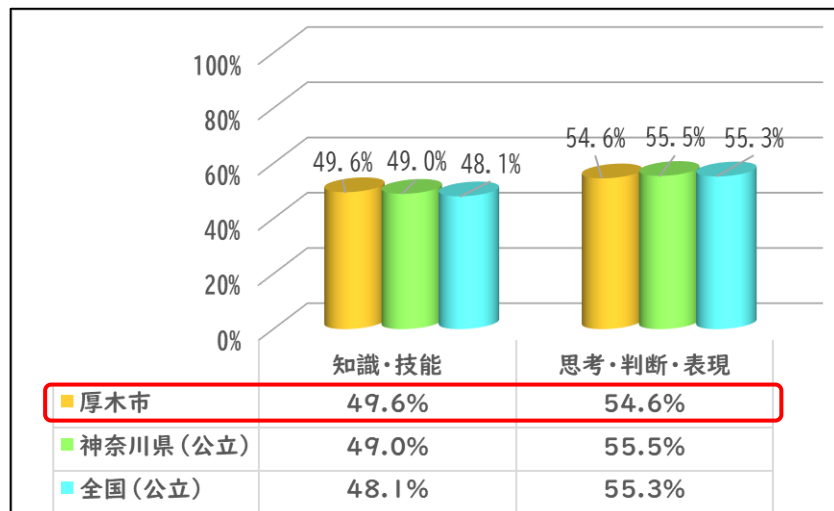
(単位：%)

(単位：%)

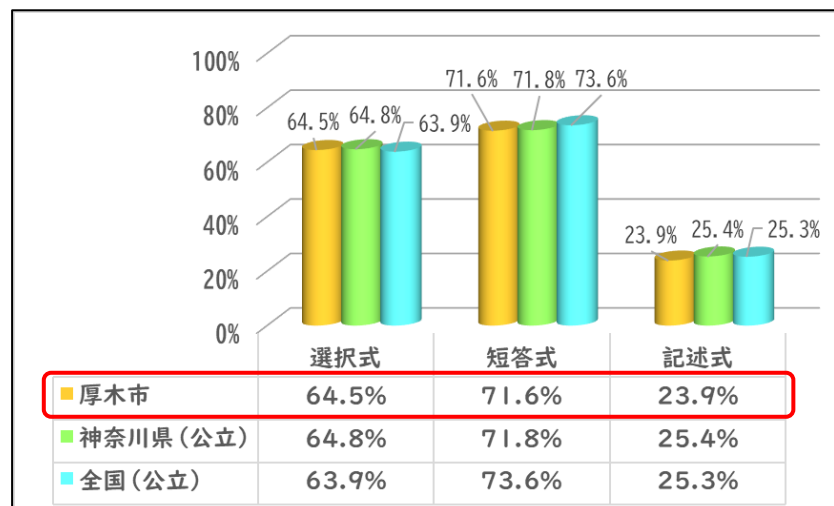
分 類	学習指導要領の内容					
	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		
区 分	(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2)情報の扱い方に 関する事項	(3)我が国の言語文化に 関する事項	A 話すこと・ 聞くこと	B 書くこと	C 読むこと
厚木市	49.6	—	—	54.2	50.0	63.0
神奈川県 (公立)	49.0	—	—	53.9	52.3	62.9
全国(公立)	48.1	—	—	53.2	52.8	62.3



【評価の観点】



【問題形式】



【問題例】

※ 調査問題、正答例等につきましては、次のホームページをご覧ください。

国立教育政策研究所 令和7年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について

【ホームページアドレス】 <https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>

【中学校 国語】 本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も高い問題

③ 文学的な文章を読む(「二人の兄弟」) 設問二

〔出題の趣旨〕

文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる。

〔学習指導要領の内容〕

思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	91.7%	90.3%	89.9%	+1.8

文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることはできています。

【中学校 国語】 本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も低い問題

③ 文学的な文章を読む(「二人の兄弟」) 設問四

〔出題の趣旨〕

文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。

〔学習指導要領の内容〕

思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	18.4%	18.1%	17.1%	+1.3

文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることについては、令和4年度【小学校】調査及び令和5年度【中学校】調査に引き続き課題があると考えられます。

(令和4年度小学校国語 ②二 平均正答率 68.5%、令和5年度中学校国語 ④三 平均正答率 51.8%)

【中学校 国語】 全国（公立）の平均正答率との差が最も大きい問題
本市、全国及び神奈川県において最も無解答率が高い問題

4 手紙を推敲する（「職場体験活動のお礼状」） 設問一

〔出題の趣旨〕

読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。

〔学習指導要領の内容〕

思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との差
平均正答率	51.4%	53.3%	57.3%	-5.9
無解答率	38.9%	36.3%	33.5%	+5.4

読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることに課題があると考えられます。

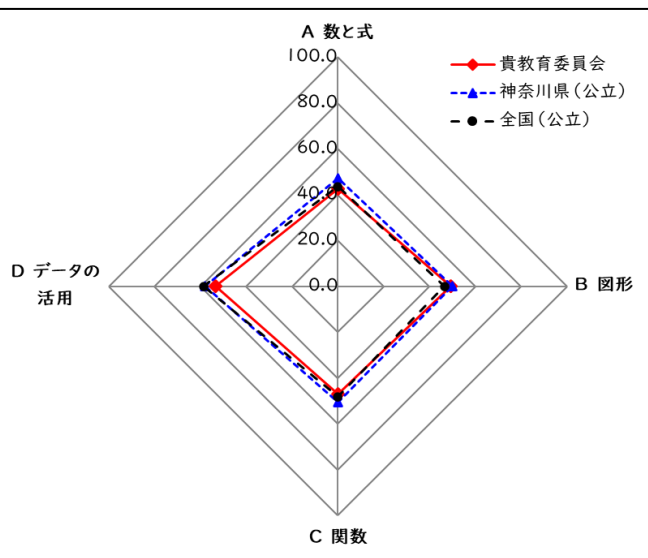
(5) 中学校 数学の主な結果（平均正答率）について

【学習指導要領の領域】

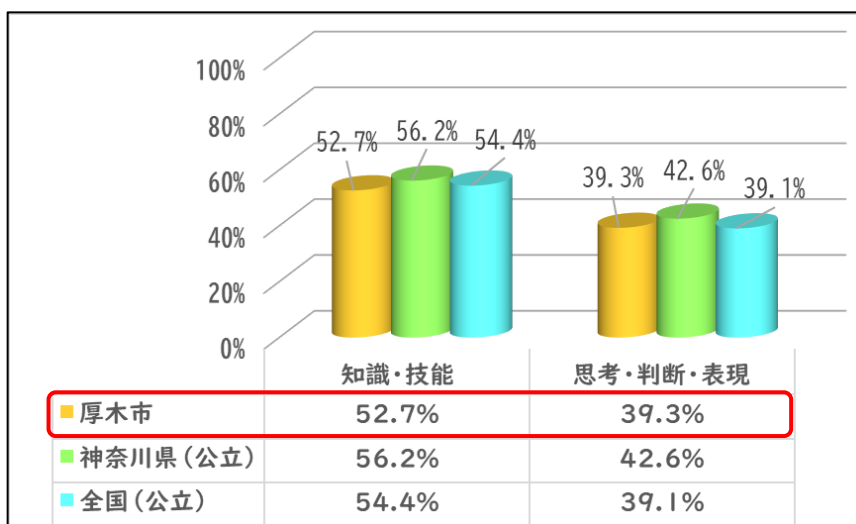
(単位：%)

(単位：%)

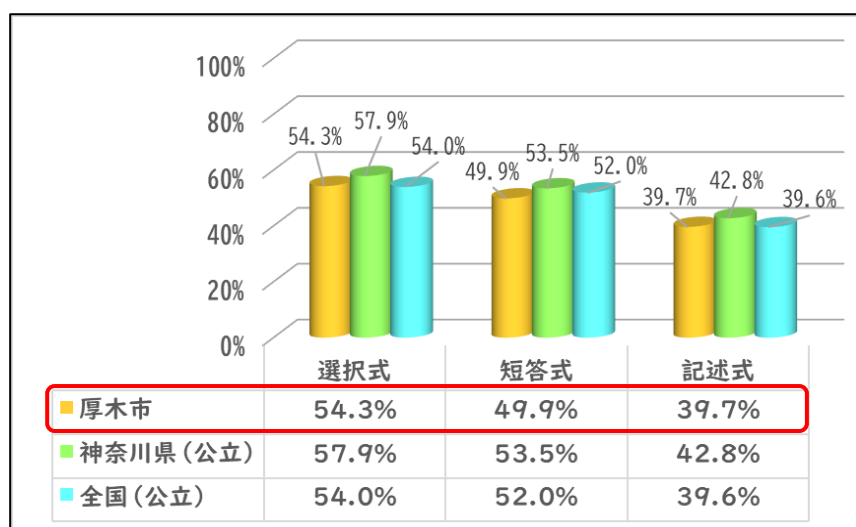
分類	学習指導要領の領域			
区分	A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用
厚木市	42.6	49.2	47.0	53.2
神奈川県 (公立)	47.1	50.2	50.5	58.1
全国(公立)	43.5	46.5	48.2	58.6



【評価の観点】



【問題形式】



【問題例】

※ 調査問題、正答例等につきましては、次のホームページをご覧ください。

国立教育政策研究所 令和7年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について

【ホームページアドレス】 <https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>

【中学校 数学】 本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も高い問題

- 7 不確定な事象の起こりやすさを捉え考察し判断すること(じゃんけんカードゲーム) 設問(1)
 [出題の趣旨]
 必ず起こる事象の確率について理解しているかどうかをみる。
 [学習指導要領の領域]
 D データの活用
 [評価の観点]
 知識・技能

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	79.3%	79.0%	77.4%	+1.9

必ず起こる事柄の確率について理解できていると考えられます。

【中学校 数学】 本市において平均正答率が最も低い問題

全国(公立)の平均正答率との差が最も大きい問題

- 5 相対度数
 [出題の趣旨]
 相対度数の意味を理解しているかどうかをみる。
 [学習指導要領の領域]
 D データの活用
 [評価の観点]
 知識・技能

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	26.8%	38.3%	42.5%	-15.7

相対度数の意味の理解については、平成29年度【中学校】調査に引き続き課題があると考えられます。(平成29年度【中学校】数学A 14 (2) 平均正答率38.9%)

【中学校 数学】本市、全国及び神奈川県において最も無解答率が高い問題

- 8 日常的な事象における問題について、関数関係に着目し構想を立て解決すること（新しい駅）
設問（2）
〔出題の趣旨〕
事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。
〔学習指導要領の領域〕
C 関数
〔評価の観点〕
思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との差
平均正答率	37.7%	40.3%	38.0%	-0.3
無解答率	35.1%	32.0%	35.0%	+0.1

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに引き続き課題があると考えられます。

（平成 29 年度【中学校】数学 B 3（2）平均正答率 17.3%）

（令和 3 年度【中学校】数学 7（2）平均正答率 26.3%）

（令和 4 年度【中学校】数学 8（2）平均正答率 36.7%）

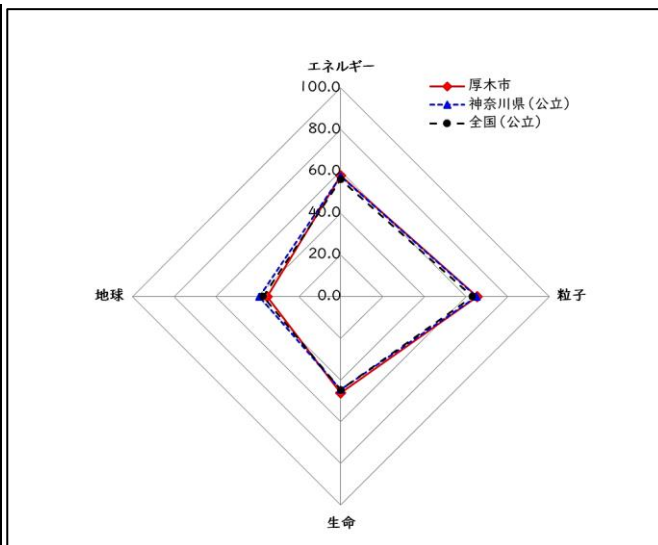
(6) 中学校 理科の主な結果（平均正答率及び IRT スコア）について

【学習指導要領の領域】

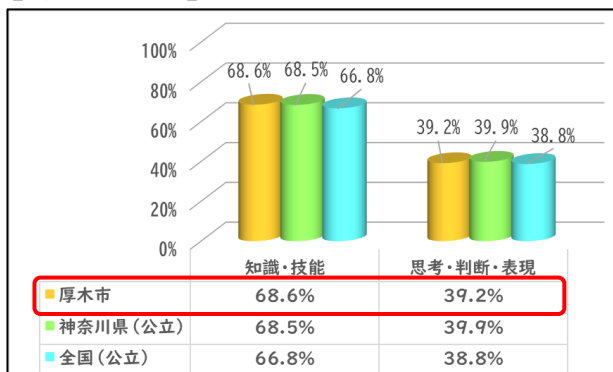
(単位：％)

(単位：％)

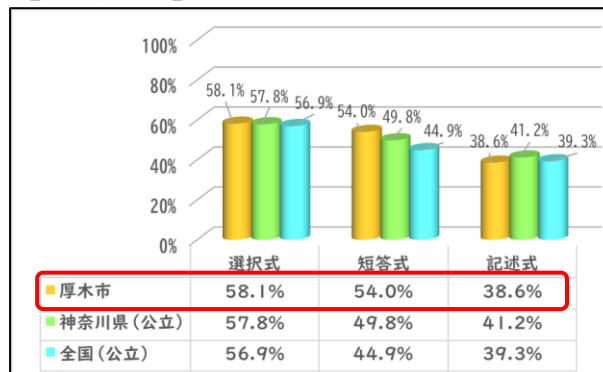
分類	学習指導要領の領域			
区分	「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域	「地球」を柱とする領域
厚木市	58.1	65.3	46.2	35.5
神奈川県(公立)	57.8	65.0	44.8	39.3
全国(公立)	56.1	63.2	44.8	37.3



【評価の観点】



【問題形式】



【IRT スコア集計値】

	平均IRTスコア	標準偏差	パーセンタイル値				
			10%	25%	50%	75%	90%
厚木市	513	129.4	373	430	499	584	665
神奈川県(公立)	510	124.3	368	429	501	580	659
全国(公立)	503	124.0	361	422	495	572	652

※ 標準偏差:集団のデータの平均値からの離れ具合(散らばり度合い)を表す数値。

※ パーセンタイル:データ全体を小さい順に並べたときに、ある値が下から数えて何%の位置に相当するかを表す数値。小さい順から数えて、総数の1/4番目に当たる値が第一四分位(25 パーセンタイル)、真ん中に当たる値が第二四分位(中央値、50 パーセンタイル)、3/4番目に当たる値が第三四分位(75 パーセンタイル)となります。

【問題例】

※ 調査問題、正答例等につきましては、次のホームページをご覧ください。

国立教育政策研究所 令和7年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について

【ホームページアドレス】 <https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>

【中学校 理科】 本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も高い問題

2 ストロー笛をつくり、音について科学的に探究する 設問(2)

〔出題の趣旨〕

ストローの太さと音の高低に関する情報を収集してまとめを行う学習活動の場面で、収集する資料や情報の信頼性についての知識及び技能が身に付いているかどうかをみる。

〔学習指導要領の領域〕

「エネルギー」を柱とする領域

〔評価の観点〕

知識・技能

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	96.6%	95.8%	94.6%	+2.0

収集する資料や情報の信頼性を確認する方法についての知識及び技能を身に付けていると考えられます。

【中学校 理科】 全国(公立)の平均正答率との差が最も大きい問題

1 水をテーマに科学的に探究する 設問(5)

〔出題の趣旨〕

塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる。

〔学習指導要領の領域〕

「粒子」を柱とする領域

〔評価の観点〕

知識・技能

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	54.0%	49.8%	44.9%	+9.1

元素を記号で書き表すことに課題があると考えられます。

(平成27年度【中学校】数学 1 (1) 平均正答率 74.5%)

(平成30年度【中学校】数学 8 (1) 平均正答率 83.7%)

【中学校 理科】 本市、全国及び神奈川県において平均正答率が最も低い問題

8 身近な地域の大地の変化について科学的に探究する 設問(2)

〔出題の趣旨〕

大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現できるかどうかをみる。

〔学習指導要領の領域〕

「地球」を柱とする領域

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	15.2%	18.6%	18.1%	-2.9

ボーリング調査の結果と関連付けて、地層の広がりを検討して表現することに課題があると考えられます。

【中学校 理科】 本市、全国及び神奈川県において最も無解答率が高い問題

11 水をテーマに科学的に探究する 設問(6)

〔出題の趣旨〕

科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できるかどうかをみる。

〔学習指導要領の領域〕

「粒子」を柱とする領域

〔評価の観点〕

思考・判断・表現

	厚木市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との差
平均正答率	81.6%	80.0%	79.4%	+2.2
無解答率	7.9%	9.3%	9.9%	-2.0

探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現することができていると考えられます。